

議会報告・守屋レポート

ちば・いちかわ まちづくり対談

ますます重要な 県と市の 緊密な連携

1978年 神戸市出身。29歳で千葉市議会議員に出馬し初当選。2年後に千葉市長となり3期にわたり施政を行う。2021年140万票を獲得し千葉県知事初当選。

千葉県知事

くまがい としひと

熊谷俊人

2007年、熊谷知事が千葉市、私が市川市の市議会議員に初当選し、同期として知り合って15年になります。この間知事は千葉市長を経て県知事へ、私は千葉県議会2期目。同じ議場で県政を担う立場になるとは、「感慨深い」と共感しつつ、これからの千葉県、そして市との連携などについて語り合いました。



1968年市川市大洲出身。転勤族の子育て経験から、子育て支援の必要性を痛感し、市川市議となる(2期)。県との連携強化のため県議会へ。現在2期目。

千葉県議会議員

もりや たかこ

守屋貴子

切れ目ない子育て世代支援を その先の福祉につなげる。

守屋より

生まれる前から子どもが自立するまで、切れ目ない子育て世代の支援の整備が、まちをもっとやさしくすると考えています。それを気づかせてくれたのが、熊谷知事でした。



不妊治療など妊娠前の「のだなど」ことから、妊娠・出産、保
熊谷 おっしゃる通りで育、就学、医療、最終的にはその子が望む教育を受けられるところまで、切
期から課題を抱えている
ケースが多くあります。
妊娠から子育てまで切れ
目なく支援を行うなかと
思います。

応援ボランティア募集

守屋貴子の活動を支援して下さるボランティアを募集しています。下記事務所までご連絡ください。

活動内容

- ・ポスティング・事務作業・駅立ち・ミニ集会
- ・ポスター貼り・車の運転・電話かけ 他

守屋 結婚して見知らぬ土地で子育てをするなかで、当事者自線の子育て支援の必要性を強く感じたことが、私の政治の原点。

で、そういった家庭の発見やサポートが虐待防止にもつながるはず。私自身も、子どもが生まれ、子育てをするなかで、支援がどうあるべきか、現実味をもって考えるようになりました。

まちづくり対談

2022

対談は十分に距離をとり、換気をしながら、マスクを精のうす、アクリルの仕切りをおいて行っています。

守屋 市川は低地が多く、水害の危険性が高いエリアが多く存在します。昨年の夏も、県内では大雨や台風による被害が

複数発生していますが、熊谷知事が構築された市町村とのホットラインは、どのように機能したのでしょうか？



守屋より

令和元年の房総半島台風もまたコロナ禍も、後にあれがあったから千葉は強くなったといえる方向へ県を導く熊谷知事。市町村長とのホットラインも構築し、災害時に緊密に連携がとれる体制を整えています。

熊谷 災害が起きた時に県と市町村がリアルタイムに意思を統一して動いているか。タイムラグも気持ちはラグも生じさせないようにしなければなりません。そのため、市長と知事のトップレベルの共有を行い、評価をホットラインがきわめて

守屋 オミクロン株が猛威を奮っています。県の体制はいかがでしょうか。
熊谷 民間の研修施設を活用して2箇所目の臨時病院を設置しています。ホテルも1千室増え2千2百室を確保しました。引き続き緊張感をもって対応していきます。

全国で最も災害に強い県へ 確実に歩みを進める。

それとともにコロナで打撃を受けた経済や福祉を立て直すことにも、しっかりと注力していきます。

編集後記

「首長としてパブリックのために仕事をするといいことは、毎日が充実していて、やりがい・生きがいを感じるものです」と語ってくださった熊谷知事。その言葉に大きな勇気をいただきました。引き続き市民・県民の皆さんが、いきいきと活躍できるまちを目指し、力を尽くしてまいります。(守屋貴子)

